

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 3 月 10 日

事業所名 児童発達支援あるはkids牧港

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6		ワンフロアの為、仕切り版等で仕切りを作り課題に取り組んでいます。	広々している分たくさん動けるのでお友達同士で接触がないように、1人1人が常に注意しながら全体の見守りを行います。
	2	職員の配置数は適切である	6		適切な人員を配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6		絵カードや名前を貼り何があるか・何をする場所なのか目で見て理解できるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6		スタッフも児童も使い終えたら元の場所にしっかりと戻す事を心がけています。	子ども達が目で見て分かりやすくする為に、場面に応じてスペースを分けます。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		朝礼時にスタッフ間での話し合いを設けています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		評価に対しての振り返りをスタッフ間で行っていきます。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		内容をまとめて保護者様にしっかりと内容を報告致します。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6		スタッフ間で話し合いをする時間を設けみんなで話し合い、改善に努めていきます。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	1		コロナ禍で以前よりも研修の機会が減ってしまっているため、新スタッフの方も研修を受ける機会を増やしていきたいです。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6		保護者様と面談時にお話しをお聞きし、個別支援計画書を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		1人1人に合うツールを使用し支援を行っています。	絵カードだけではなく、それぞれに合った声掛けをしています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		就学したときに子ども達がスムーズに環境になれていくための支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6		支援計画に基づきながら日々療育を行っております。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		同じ内容にならないようにスタッフ間でアイデアを出しプログラムを作成しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		利用曜日がそれぞれ異なるので皆様が様々な課題に参加できるよう固定化はせず様々なプログラムを作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6		午前は個別、午後は集団課題を行っています。個別課題では1人1人に合った活動を行っています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			朝礼で確認をしているが、もう一度細かくそれぞれが伝えられる様にメモを取るなどをして準備を行います。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		その日で振り返りが出来ない場合は、翌日に振り返るもしくはチャットワークを活用し共有を行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		スタッフ間で記録をとりながら気づいたことはすぐに共有をしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6		kidsでの様子、ご自宅での様子を話しながら計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		児童発達支援管理責任者・主任が会議に参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		6	現在は該当しません	医療ケアが必要なお子様がいる際はご家族様のご不安をなくしていけるようにしっかりと連携をとりながら支援を行っていきます。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		6	現在は該当しません	医療ケアが必要なお子様がいる際はご家族様のご不安をなくしていけるようにしっかりと連携をとりながら支援を行っていきます。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		送迎時に申し送りを行い必要時には会議を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		6		保育園の先生方との情報共有は行っているが、小学校と行っていないので、今後強化していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		PT、STからの助言を受けています。必要なお子様は事業所にてトレーニングを行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	3	お出かけの際に会った際は挨拶を行っています。	コロナ禍で交流する場を作れていないので今後もっと落ち着いてきた際に交流する場を作っていきたいと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4		会議は来ていませんが、地域の方へ挨拶を行っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	2	本日の様子は送迎時にお伝え。重要な要件の場合はお電話にてお伝えしております。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6			児童の頑張った所や出来た所を共有しています。ペアトレは来ていないので今後行っていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1	契約の際に、利用料や負担額についてご説明をしております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1	個別支援計画書作成後はしっかりと保護者様に確認をして頂いています。気になる点や疑問点がある際はお声がけをお願いしています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		送迎時にお困りごとがないか確認を行い、支援が必要な際は支援内容をお伝えしています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6		月に1回、保護者会、保育参観を行っています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		ご相談があった際は管理者へ報告。迅速に対応できるように心がけています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		その都度お知らせや口頭でお伝えしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6		ブログ顔出し・名前が写らないようスタッフ全員で注意を確認しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		伝え方で迷ってしまう場合は他のスタッフにも確認をし最善の方法を話し合っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		6		コロナの影響もあり現在はイベント招待はできていません。今後交流する場を設けていきたいです。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	2	4	手洗い・換気等・昼食時には仕切り版を使用し、感染症対策を常日頃から行っております。	防犯や緊急時の際の訓練は出来ていないので、今後実施していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	5		避難訓練をまだ実施できていないので今後しっかりと行っていきます。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		利用前に保護者様からお話を聞きスタッフ間で共有をしています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6		保護者様に確認し対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3		現在ヒヤリハット事例集はないが、スタッフと話し合い事例集を作成し、もしもの時を想定しながら現場での療育を行います。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2	管理者は月に1度虐待研修を行っております。	新スタッフの方にまだ研修ができていないので、しっかりと研修を行っていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2	支援計画表に記録しやむをえず身体拘束を行った場合は、状況説明を行う事をお伝えしております。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。